

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名

交流文化芸術センター/市立美術館

【平成26年度重点目標】

重点目標	文化創造都市としての「育成」事業の推進		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	<p>芸術家ふれあい事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもと音楽家が出会うクアソカト・ワークショップを実施します。 各地域の公民館などを会場に地域ふれあいコンサートの開催します。 <p>参加・体験型事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加・体験型講座、創造公演を実施します。 子どもアトリエプログラムの試行 絵画、木彫、版画、写真等の講座の実施 他の文化施設との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 市内小学校全25校で実施（5月～1月） 市内9地域で実施（5月～1月） ワークショップの開催と舞台作品の発表 H27本格実施に向けたプログラムの試行 講座の開催（3回程度） 館長、プロデューサー企画会議を立ち上げ、市全体の文化振興に当たる。 	<ul style="list-style-type: none"> 17校で実施した。 6地域で実施した。 2月の開催に向けた演出家等関係者との打合せを実施した。 8月に試行プログラムを実施した。 開館後の開催に向けた準備を進めた。 他のホール、美術館関係者へのあいさつ回りや来訪により、今後の連携に向けた準備を進めた。
重点目標	市民と共に歩む施設を目指した「市民協働」事業の推進		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
2	<p>施設運営への市民参加の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民サポーターの組織を立ち上げ、サポーターミーティング後、活動していただきます。（施設スタッフと共にボランティアとして施設運営を担う） うえだアーツ・スタッフ・アカデミーの開催（基礎講座、専門講座を受講し、地域とアーティストを繋ぐリゲ-を養成します。） 友の会の会員募集と組織の立ち上げ <p>市民協働を目的とした事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の皆さんによる開館を祝う事業を開催いただきます。（冠事業募集） 実行委員会等の一員として市民に参加いただく事業展開をします。 子どもアトリエの運営に携わる市民組織の立ち上げ、プログラムを作成します。 	<ul style="list-style-type: none"> 6月以降随時サポーターミーティングを開催 7月から基礎講座6回と専門講座の開催 7月から会員が各事業に参加しやすい環境を整える。 市民から事業を募集し、冠を付与して開催する。 実行委員会主催事業の開催 市民による運営委員会で検討し、プログラムを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 4月～5月に募集し、74人のサポーター登録を行い、サポーター会議を2回実施した。 5月に募集し、22人のアーツスタッフ登録を行った。5回の講座開催と2回のオープン講座を開催した。 票券システムを導入し、チケットメンバーズの募集を開始し、9月末現在で279人の登録があった。 「開館記念事業」として市民から事業を募集し、51事業を決定した。 NHK交響楽団コンサート開催のための実行委員会を立ち上げ、実行委員会を2回開催した。 7月に子どもアトリエ運営委員会を設立し、プログラム案を策定し、実施の準備を行った。
重点目標	魅力ある「鑑賞」事業の推進		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
3	<p>ホール鑑賞事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力的な公演を開館記念事業として展開します。 <p>市立美術館鑑賞事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 常設展示室で郷土作家を顕彰し、作品を展示します。 展覧会等を開催（企画展）します。 ギャラリーコンサートなどで、鑑賞の輪を広げます。 <p>広報宣伝活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 専用ホームページで情報をお届けします。 <p>事業経費の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 国、県等の助成金を活用します。 地元メディア、企業等との連携強化、寄附（企業メセナ）と寄附金を呼びかけます。 <p>平成27年度以降の事業計画作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市民要望を参考とした公演や身近で親しみのある事業の実施に努める。 公演ごとにアンケート調査を実施し、常にニーズの把握に努める。 市民要望を参考とした作品展や身近で親しみのある事業の実施に努める。 広報、機関紙、マスメディア等の活用 引き続き国・県等の助成金確保に努める。 企業メセナ等の行動計画の策定 大坂の陣400年、大河ドラマ関連も含め引き続き、多様な事業を計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自主事業や地元メディア等との共催等により市民要望の多かった各種公演を企画し、開館後の開催に向けて事業着手した。 音響測定コンサート、避難訓練コンサートでの参加者にアンケート調査を行った。 開館に向け、8月から市内各施設から美術館への収蔵を行い、展示準備を進めた。 開館記念特別展の準備として、他館、個人等からの借用を9月に行い展示を進めた。 広報うえだでの特集や地元テレビ局、雑誌、フリーペーパー等に記事を掲載し、広く県下にPR活動を展開した。 国、県等の補助金、助成金等活用のための申請を行い、財源確保に努めた。 地元メディアとの共催で、開館記念事業を企画し、着手した。 地元企業等からの事業や寄附等の提案を受け協議を進めた。 平成27年度以降の事業について、館長、プロデューサー会議を設け協議した。
重点目標	サントミュージゼのスムーズな開館と適正な運営・管理		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
4	<p>施設関係（本体工事、付帯工事、維持管理）</p> <ul style="list-style-type: none"> 本体工事の竣工と引渡し 付帯工事の品質確保と早期竣工 円滑な施設運営のための維持管理 <p>開館に向けた諸準備</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の運営・管理体制の構築とスタッフ研修の実施 駐車場及び周辺交通対策、公共交通利用対策を行う。 決定した愛称、ロゴマークの作成と活用 舞台設備等の捜査の習熟と運転調整 	<ul style="list-style-type: none"> 6月中に引き渡しを受ける。 開館までに一定の工事を終了させる。 総合管理業務の委託契約を締結し、スムーズな施設の維持管理に努める。 保全計画及び長期修繕計画の作成 全スタッフの勤務体制を調整し、管理・運営体制を整える。 親しみやすい施設を目指し、QRマーク等を有効活用する。 機械類等の操作習熟に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 6月12日に建物の引渡しを受け、同日引渡し式を行った。 水景施設と外構照明設備工事については、開館前に工事が終了した。 6月からの施設管理について、清掃、警備、設備運転、設備保守等を含めた総合管理業務の委託契約を締結した。 施設の保全計画及び長期修繕計画について検討を始めた。 専門職員、臨時職員、舞台技術派遣職員、美術館監視員等のスタッフを募集し、開館に向けた運営体制を整えた。 6月にシンボルマークとロゴデザインを作製し、施設の看板、印刷物等に活用した。 舞台機構、施設設備等の操作について設置業者との打合せや操作説明を受け、開館に向けた運用の準備を行った。

市長指示事項

- 26年度を「文化創造元年」と位置付け、創造の気運が高まるよう、市民に分かりやすく伝えながら各種事業の展開に努めること。
- 市民サポーター組織については、成功事例も参考にしながら充実できるよう取り組むこと。
- 施設完成後のボランティアについては、万全を期すよう方法を工夫し対策を講ずること。